

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路建設課長 多田 智 (県道係長 松田 智)	内線	4 3 6 2 (4 3 7 6)
------	-------------------	---------------------	----------------------------	----	------------------------

事業種目	道 路	事業名	事業区間	総事業費	8.8億円
		道路改築事業 （一）長安寺西岡屋線 <small>ちょうあんじにしおかや</small>	ささやましひがしはまたに 篠山市東浜谷～ にしおかや 西岡屋	内用地補償費	6.5億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
篠山市東浜谷～西岡屋			平成19年度	平成19年度	平成23年度
事業目的			事業内容		
<ul style="list-style-type: none"> 本路線の事業区間は、篠山市街地の西端部を南北に縦断する幹線道路であり、市街地の環状道路としての機能を有しているが、車道幅員が4.5m程度の未改良区間である。 今回の事業及び(主)篠山山南線 西岡屋工区の整備により環状ネットワークを形成し、中心市街地における円滑な交通を確保し、合併後の篠山市のまちづくりに寄与する。 また、沿道には人家が連担しており、周辺には兵庫県篠山総合庁舎をはじめ、小学校・幼稚園・高校・篠山警察署などの公共施設が集積する地域である。 通学路にも指定されているため、人・自転車・車が輻輳しており、交通安全の観点からも危険な状態にある。今回、両側歩道を設置することにより、小学生・高校生等の交通安全を確保する。 			道路改築(現道拡幅) L = 500 m 合併支援道路・地域生活道路 【道路規格】 3種2級(平地部) 【計画幅員】 W = 6.5 (15.0) m(2車線+両側歩道) 【現況幅員】 W = 4.5 (6.8) m 【計画交通量】 3,000台/日(H42推計値) 【現況交通量】 2,851台/日(H17実測) 【自転車歩行者交通量】 1,353人台/12h (H17実測)		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 安全・安心を確保する道づくり	<ul style="list-style-type: none"> 広域避難所である兵庫県篠山庁舎へのアクセス道路である。 岡野小学校、篠山産業高校の通学路整備である。 				
くらしと交流を支える道づくり	<ul style="list-style-type: none"> 篠山市の合併支援道路である。 新市整備計画の中で位置づけられている。 観光シーズン等における市街地への流入交通を分散するとともに城下町篠山の回遊性を高めるなど、篠山市街地の環状道路として機能する。 				
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> 費用便益比 B / C = 1 . 1 本路線は篠山市中心市街地の外縁を形成する環状道路の唯一未改良区間の整備により、中心市街地の持続ある発展を支える。 				
代替性	<ul style="list-style-type: none"> 沿道利用が多く、バイパスよりも経済的に優位なため、現道拡幅(案)を採用する。 				
効率性 (事業執行環境)	<ul style="list-style-type: none"> ルートについては地元説明会を通じて地元合意を得ており、円滑な事業実施に向けた地元の協力体制は整っている。 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 景観に配慮した防護柵を設置する。 歩道には透水性舗装を施工し、地下水涵養に努める。 				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 南側に連続する(主)篠山山南線において道路改築事業を実施しており、H21年に完成予定である。早期事業効果を上げるべく引き続き当該工区に着手する必要があるため、平成19年度に着手する。 				